

中山間ふるさと・水と土保全対策事業
事業実施計画

計画期間：平成29年度～令和3年度

計画内容

1. 事業実施の基本方針
2. 事業実施の成果目標
3. 事業計画

宮 城 県

1. 事業実施の基本方針

<p>現状と課題</p>	<p>農村における高齢化や人口減少が進行する中、特に中山間地域では、担い手不足等による農地の荒廃や生産基盤の脆弱化等が深刻化している。又、集落人口の減少により、これまで集落の協働活動として行われてきた農地・農業用水等の地域資源の維持管理や、生活サービスの提供等の継続に支障を及ぼすことが懸念されている。</p> <p>地域の活力が低下しつつあり、農業生産活動を通じた農地の維持や、関連する土地改良施設等の適正な機能の維持を図ることが困難な状況であるため、地域住民活動の多様な展開を促進するための助言や推進指導を行う人材育成と、保全・整備活動を実践するための組織の整備が求められている。</p>
<p>事業実施の基本方針</p>	<p>みやぎ農業農村整備基本計画により、地域資源を活用した美しい農村空間の形成を目指すため、農村資源の有効活用やこれらを利用した交流活動を行うなど、美しい田園空間を創設するとともに地域活性化を図る。</p> <p>このため、地域住民参画のもとに多様なニーズに応じた保全・整備や地域活動を促進することを目的に、地域が持つ美しい景観等の保全・整備を持続的に実施する活動の啓発・普及を推進し、地域資源を活かした美しい農村空間を形成する。</p>
<p>計画後の目指す姿</p>	<p>地域住民参画のもとに地域が持つ美しい景観等の保全・整備を持続的に実施し、地域住民のみならず都市住民にとっても魅力ある農村環境とするとともに、次世代に引き継ぐべき農村の多様な自然生態系を維持し、自然と共生した「ゆとり」と「うるおい」のある住みよい農村づくりを行う。</p>

2. 事業実施の成果目標

事業区分	主な成果目標	数値目標	内 容
<p>調査研究事業</p>	<p>住民の主体的な取組による、地域の特性を生かした地域づくり</p>	<p>取組地区延べ5地区</p>	<p>地域住民活動を通じた地域づくりへの支援を行う。</p>
<p>研修事業</p>	<p>活性化に関する指導及び助言を行う人材を育成</p>	<p>ふるさと水と土指導員の育成 15名</p>	<p>市町村等と連携し新たな指導員を委嘱することにより、保全活動の実施母体となる地域住民活動への指導助言を実施する。</p>
<p>推進事業</p>	<p>地域住民活動に関する推進指導、組織の構想化、事業の普及・啓発活動を実施</p>	<p>委員会の開催（2回／年）</p>	<p>事業に関する幅広い意見や提言を受け、事業推進方策や基金活用等について検討する。 また、地域住民活動を実施する保全隊を組織化し、地域住民自ら地域資源を保全する。</p>

3. 事業計画

事業区分	事業名	事業内容	目標年度において達成すべき状況	現況値		計画期間における必要事業量	参考年度別事業量				
				～H28	うち H28		H29	H30	R1	R2	R3
調査研究事業	中山間地域等活性化事業	地域の現状把握及び地域活性化計画の策定等	地域住民活動実践 【実施地区数】	5地区 (延べ7地区)	—	延べ5地区	1地区	1地区	1地区	2地区	2地区
研修事業	指導員保全隊等研修会	地域活動の指導, 地域資源のコーディネート等をする指導員等の育成のための研修会	指導員の人材発掘・スキルアップ 【開催回数】	44回	1回	5回	1回	1回	1回	1回	1回
	全国研修会	指導員研修会	地域住民活動の指導・助言を行う新規指導員の委嘱等 【委嘱者数】	58人 (研修受講者68人)	3人	14人	2人	3人	3人	3人	3人
推進事業	農村振興施策検討委員会	実施状況及び事業計画に係る検討	今後の事業実施への活用 【開催回数】	39回	3回	10回	2回	2回	2回	2回	2回
	中山間地域等活性化事業	地域住民が行う保全活動について、自主保全活動に移行する期間に支援を行う	指導員・保全隊への推進・指導補助を実施し、継続的活動を行うための基礎をつくる【年間活動団体数】	204団体	9団体	延べ60団体	10団体	12団体	12団体	15団体	15団体
参考事業費		(単位：千円)		137,154	3,577	29,120	5,824	5,824	5,824	7,724	7,724